

小中一貫校における芝生化の紹介

町田市立小中一貫 ゆくのき学園（大戸小学校・武蔵岡中学校）

芝生を介した子供たちの交流が独自の文化を育みます。

* 小中一貫校としての特長

全校生徒が参加するレクリエーションではみんなが芝生の上でゲームを楽しんでいますし、昼休みになると小学生に混じって中学生の子供たちも遊んでいます。時々高学年的小学生が中学生にサッカーで勝負を挑んだりしていますが、これらは小中一貫校だから生まれる年齢を超えた交流で、子供たちが集う場所として芝生化はとても良い効果を及ぼしています。



守屋裕一 校長先生



全校生徒が参加しての
レクリエーションと
雑草とり



* 楽しみながら芝生の維持管理を

最初は地域の方がボランティアで来てくれていたのですが、もう少し自分たちで責任を持ってやって行こうということで、去年の4月、渡辺好造副校長が「親子の会」に声を掛けて日曜日の午前中に芝生の手入れを手伝ってもらうようにしました。ポイントは、楽しみながら。業者任せにしないで、自分たちであれこれ知恵を出し合ってやっています。



* いつの間にか子供たちの体力が アップしていました！

市教育委員会から「全国体力テスト」で本校の小学生の体力が向上していることを教えてもらいました。走力やジャンプ力、立幅飛びがグンと伸びている。これは、日常的に芝生の上で遊んでいることで、身体全体の調整力が高まるということらしいんですね。芝生化以前は保健室がかなり混雑していたのですが、思い切り遊べるということ、転んでもほとんどケガをしないこと、緑の風景に自然と癒されること、色々な要素が重なって保健室に行く子が本当に少くなりました。芝生化によって目に見えない様々な効果が生まれていますし、それが学校運営の大きな推進力になっていると思います。

